



熊谷市立桜木小学校

グランドデザイン



学校教育目標

「進んで学ぶ子」「心の美しい子」「強くたくましい子」

目指す学校像「笑顔とあいさつ 思いやりがあふれる 桜木小」

学校研究課題 「振り返り」の質を高め、思考力・判断力・表現力を育むための研究

～授業改善や総合的な学習の時間を中核としたカリキュラム改善を通して～

「新熊谷プロジェクト」で 学力日本一を目指します

学力とは「知力」、「徳力」、「体力」を合わせたもので、3つのバランスとれた学力の育成を図ります。

進んで学ぶ子 知

《目指す児童像》

・めあてに向かって進んで学ぶ子

【重点目標】

- 学校研究の推進による、授業改善と確かな学力の向上
- ・桜木小の基礎・基本を通した基礎的・基本的な学習内容の定着（学習内容の明確化）
- ・「振り返り」を活用し、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善
- ・教科横断的でオーセンティックな授業による汎用的能力の育成
- ・読書・音読・暗唱チャレンジによる言語感覚の育成
- ・各種テストの取組から情報や知識の活用力の向上
- ・「ラウンドシステム」の考え方を全学年・全教科で実践
- ・くまなびスクールの充実

『評価指標』

- 「振り返り」児童アンケート肯定的回答 80%
- 校内基礎学力調査、正答率 90%以上
- 暗唱の合格者割合、読書冊数：低 100 冊・中 70 冊・高 50 冊
- 全国学テで、県の平均正答率を 5% 以上上回る
- 県学調で、学力を伸ばした児童の割合とレベルが県を上回る

心の美しい子 徳

《目指す児童像》

・思いやりの心をもち仲間と協力できる子

【重点目標】

- 豊かな心をもち、互いに高め合える児童の育成
- ・特別活動の充実による、自治的・主体的な学級・学校づくりの推進
- ・熊谷の子どもたちはこれができる！「4つの実践と3減運動」の推進
- ・人権感覚を育成し、「いじめ」を絶対に許さない風土の醸成
- ・道徳授業の充実によるあいさつや思いやり、協力する心の育成（道徳の見える化）
- ・地域の教育資産・人材を生かした体験活動を通して ESD の視点に立った学習指導の展開

『評価指標』

- 縦割り遊び9回実施・話合い活動各学年6回以上実施
- 4つの実践・3減運動に関する調査で児童・保護者全項目で肯定的回答増
- 人権旬間年2回・職員研修実施いじめ解消率 100%
- 道徳コーナーの充実・保護者あいさつアンケート 85%
- 各学級年1回以上の体験活動

強くたくましい子 体

《目指す児童像》

・進んで体を動かし 健康でたくましい子

【重点目標】

- 進んで体を鍛え、自分の身は自分で守れる児童の育成
- ・楽しく、力いっぱい運動する体育授業を通した運動好きな児童の育成
- ・一人ひとりがめあてをもち、意欲的に体力を高める活動の充実
- ・家庭と連携した HQC シートの取組や保健指導による基本的生活習慣の確立
- ・自他の命を守る安全指導の充実と安全点検の徹底
- ・健康教育及び食育の充実

『評価指標』

- 新体力テスト、県平均以上の項目 80%
- マラソン・なわとびカード 学級目標クリア 100%
- HQC シートによる生活改善 100%
- 避難訓練年間 5 回実施
- むし歯治療率 100%・HQC シート「朝ごはん」の項目 100%

《目指す教師像》

- ・自ら進んで学び続け、プロとしての誇りをもつ教師
- ・一人ひとりを大切にし、人の思いに寄り添う教師
- ・礼儀正しく、明るく健康的な教師

家庭・地域との連携

地域とともに歩む学校づくり

- ・学校運営協議会による課題の解決
- ・学校応援団との連携・協働
- ・PTA との連携
- ・地域の各種団体との協力体制

- 学校運営協議会 3 回実施
- 学校応援団感謝の会
- 教育相談の計画的実施

学校経営方針

- 確かな学力を身に付け、未来に向けて挑戦し続ける児童を育成します。
- ・授業で勝負するために研修を積み、わかる授業、児童主体の授業を展開します
- ・チーム桜木の力を結集し、知・徳・体の学力を育成します
- ・挑戦する勇気が大切であるという風土を醸成します

- 人との関わりを大切にし、互いに高め合える学校づくりを進めます。
- ・全職員で子どもを徹底的にかまうことで、児童が自己実現できる環境を整えます
- ・あいさつと感謝の言葉に溢れた、活気と気遣いに満ち、居心地のよい学校づくりを進めます

- 地域で一体となって教育活動を進めます。

- ・大人が手本となってモデルを示し、豊かな人間性を育みます
- ・開かれた学校づくりに努め、保護者や地域社会との連携・協働を強化します

